

# 事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人くらしの相談室

事業名	相続・成年後見に関する無料相談会・講座事業
助成枠の種類	スタートアップ事業
1. 事業の目的	<p>高齢化社会が今後ますます進展していく中、相続や成年後見の支援に係る必要性が日増しに高まっている。しかし、こうしたことを望んでも、どこの誰に聞けば良いのか分からず困っている住民が大半である。</p> <p>当法人の会員である行政書士が専門家として無料の相談会や講座を開くことで、住民の必要性に応えることを目的とした。</p>
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<p>(1) 法人の設立目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 設立目的：見守りサービス・成年後見や身元保証業務等による高齢者・障がい者等支援</li><li>② 活動：住民相談、講座開催、成年後見・身元保証業務</li><li>③ 成果：相談会や講座は、定期的に開催している。 業務面でも、任意後見業務を受任するなどの結果を出している。</li></ul> <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 相続・遺言については住民の間では依然として「縁起悪く避けたい話」の認識が強いので、当法人の活動を進めることで、必要性と重要性を啓発したい。</li><li>② 成年後見については、そもそも制度を知らない住民も多い。同様に当法人の活動で啓発していきたい</li></ul> <p>(3) 重要性等</p> <p>高齢化社会である現代では、相続・遺言・成年後見とも避けては通れないことである。しかし、住民の間では意識が低いので、当法人の業務と各種活動は大きな意味がある。</p> <p>本年度は県事業として実施したため、例年以上に充実した内容となり、上記(2)の課題も達成できた。</p>

3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果

(1) 行政書士による相続・成年後見無料相談会  
○事業のスケジュール

時期	内容
7月	無料相談会開催 9日(金)・30日(金) 春日部市市民活動センター 14日(水)・21日(水) 宮代町コミュニティセンター進修館
8月	まん延防止等重点措置により中止
9月	緊急事態宣言により中止
10月	無料相談会開催 8日(金)・22日(金) 春日部市市民活動センター 20日(水)・27日(水) 宮代町コミュニティセンター進修館
11月	無料相談会開催 12日(金)・26日(金) 春日部市市民活動センター 17日(水)・24日(水) 宮代町コミュニティセンター進修館 29日(月) 宮代町社会福祉協議会 福祉交流館
12月	無料相談会開催 10日(金)・24日(金) 春日部市市民活動センター 15日(水)・22日(水) 宮代町コミュニティセンター進修館
1月	無料相談会開催 7日(金)・21日(金) 春日部市市民活動センター 19日(水)・26日(水) 宮代町コミュニティセンター進修館
2月	無料相談会開催 25日(金) (10日(木)は大雪で中止) 春日部市市民活動センター 16日(水)・23日(水・祝) 宮代町コミュニティセンター進修館

※時刻は、いずれも午後2時から4時まで  
(12月10日(金)のみ午後3時から5時まで)

○実施結果について

相談者の来所は、多いときで2名から3名程度であった。しかし、その中には以前の相談対応を喜ばれ、複数回来場された方もいるなど、決して相談者が少なかったとは考えられず、十分に住民のニーズに応えられた。

また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等により、8月・9月は中止したため、回数こそは及ばないものの、当初予定のなかった11月29日(於:宮代町社会福祉協議会 福祉交流館)にて追加開催し、僅かながら中止分の補完もした。

○広報実績について

当NPO法人が自身で告知チラシを作成し会場となる公共施設に設置した。また、市町広報紙にも掲載するなど、メンバーが一丸となって広報に努めた。

その結果、相談に来た住民は、そのチラシを御覧になって来場した方が殆どであった。ゆえに、チラシ作成は不可欠である。

当法人メンバーの尽力は勿論であるが、官公庁との接点があることで住民からの信頼度が高まったことにより、安心して相談に来たと考えている。

(2) 行政書士による相続・遺言講座

○事業のスケジュール

時期	内容
7月	会場予約(春日部)市広報媒体告知依頼
8月	テキスト作成準備、告知チラシ作成(春日部)
9月	会場予約(宮代)町広報媒体告知依頼告知チラシ作成(宮代)
10月	講座開催 17日(日)午前10時から12時まで 春日部市視聴覚センター
11月	講座開催 26日(金)午前10時から12時まで 宮代町社会福祉協議会 福祉交流館
12月	参加住民への事後フォローに向け待機
1月	同上
2月	同上

	<p>○実施結果について</p> <p>受講者は、春日部が6名、宮代が8名であった。春日部での開催は当初から予定していたが、追加開催希望を多く頂き、当初予定になかった宮代町社会福祉協議会の施設で追加開催した。</p> <p>参加者は高齢者が主で、大変好評であった。特に、宮代の会場では、直前に急遽友人を誘って参加した方もいるなど、予想以上に高い評価を住民から頂いた。</p> <p>※なお、追加開催を令和4年2月24日にも予定していたが、コロナのオミクロン株感染急拡大により中止した。</p> <p>○広報実績について</p> <p>無料相談会と同じく、当NPO法人が自身で告知チラシを作成し会場となる公共施設に設置した。また、市町広報紙にも掲載し、無料相談会同様、メンバーが一丸となって広報に努めた。</p> <p>チラシを御覧になって来た住民もさることながら、市町広報紙で知って来場した住民も多かった。このことを通じ、市町役場広報担当課との信頼関係もより一層深まったものと思われる。</p> <p>講座に関しても、当法人メンバーの尽力は勿論であるが、官公庁との接点があることで信頼度が高まり、住民が積極的に受講に来たと考えている。</p>
<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<p>無料相談会・講座とも、高齢者を中心とした住民から大変好評で、中には複数回参加した住民や、友人を誘って一緒に来られた住民もいた。</p> <p>これらは、当NPO法人がこれまで以上に住民の方々からの信頼を得られた証であるとともに、今後の更なる活動に繋げられる大きな礎となった。</p> <p>また、今年度、コロナ禍による予定変更で、急遽、宮代町の社会福祉協議会の施設でも講座や無料相談会を開催し、高齢者のみならず障がい者の支援活動にも繋げられる絶好の機会を得た。</p>
<p>5. 費用面での工夫</p>	<p>会場使用に際し、公立施設に限定し選定した。理由は利用料が安価なうえ、公立施設が利用を認めていることで、当法人が信頼できる団体であることを住民に認識していただけるからである。</p> <p>物品調達に関しては、実際に事業活動に必要なものであるのかを住民の立場に立って選定した。また、単に安価であるだけでなく、耐用性・使い易さも重視し精査したうえで選定した。</p>

<p>6. 地域社会への還元について</p>	<p>住民の高齢化は、当法人は拠点としている春日部市・宮代町など埼玉県東部地域でも例外ではない。</p> <p>このようなことから、当法人が無料相談会や講座を通じ、相続・遺言・成年後見について、これまで以上にきめ細かい情報提供並びに相談対応をすることができ、地域社会に大いに還元できた。</p> <p>また、新たに社会福祉協議会の施設を会場とすることで、高齢者のみならず、障がい者支援の面でも地域社会に還元できた。</p>
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか</p>	<p>今年度の無料相談会・講座は、住民から思いのほか高い評価や信頼を頂き、予想を遙かに上回る成果が見られた。</p> <p>これをまたとないステップアップの機会と捉え、来年度は講座の回数や場所を大幅に拡充し、内容もより幅広く扱いたいと考えている。</p> <p>無料相談会についても、春日部市・宮代町以外の市町からも相談に来られた方もいらっしゃったので、近隣の他の市町でも開催し、より多くの住民のニーズに応えたいと考えている。</p>